

上下水道局からのお知らせ

水道広域推進室を設置しました

人口減少に伴う収入の減少や施設・管路の老朽化などに伴い、水道事業の経営環境は、厳しさを増しています。生活に必要不可欠なライフラインとして水道事業を継続していくためには、宇部市単独での事業運営を続けるのではなく、山陽小野田市と連携し、両市が維持している浄水場の統廃合やダウンサイジング(※)など、施設の無駄をなくすとともに、維持管理費の削減など効率化を図り、経営基盤の強化を進める必要があります。

宇部市と山陽小野田市は、厚東川を水源としており、広域化による効果が大きいと見込まれることから、2015年(平成27年)から両市職員で構成する検討委員会で協議を行ってきました。

広域化の協議を加速化させるため、2019年(平成31年)4月1日、宇部市上下水道局内に「水道広域推進室」を設置しました。

両市の水道事業を安定して運営するため、広域化を目指してまいります。

※ダウンサイ징とはコストの削減や効率化を目的として、より小型のものを用いることです。



「災害時等における上下水道事業への支援活動に関する協定」を締結しました

2019年(平成31年)4月25日、宇部市上下水道局は、三成建設株式会社様と災害時の支援についての協定を締結しました。

協定によって何が変わるの？

地震などの自然災害や事故により、上下水道施設に被害が出た場合、三成建設株式会社様から必要な資機材の優先供給や復旧体制の支援を受けることにより、被災した施設の早期復旧や災害発生時の応急措置など迅速な対応が可能となります。



脱水・熱中症に注意しましょう!

人間のからだの50～60%は水分でできています。

気温が高い・日差しが強い・湿度が高い・風がない・急に暑くなったり、などの状況になると汗をかきやすく、体の水分が失われやすくなります。

そうなると、体調が悪くなったり、ひどい場合は命に関わることがあります。



水分補給をしましよう!

のどが渴いたと感じる前に水分を補給することを心がけましょう



1回に150～200mlずつ、常温に近い温度の水分が良いとされています

起床時・就寝前・入浴前後・運動前後など、水分が失われやすいタイミングの補給も忘れずに行うようにしましょう

アルコールやカフェインを多く含む飲み物は利尿作用があり、脱水が進むことがありますので飲みすぎに注意しましょう

水分補給をするときは、あわせて塩分の補給も行うようにしましょう

情報提供をお願いします

水道管の漏水は、貴重な水の浪費になるだけでなく、道路陥没の原因となることがあります。下水マンホールの段差・蓋のガタつきは、車の通行の障害となったり、蓋がずれてしまう危険があります。下記のような状況を発見された場合は、調査・修繕を行いますので上下水道局に連絡をお願いします。

水道管の漏水

晴れているのに道路がいつも濡れている
普段水気の無いところが濡れている など



下水マンホール蓋の不良

蓋の上を車が通るたびに音がする
マンホールの周りが陥没している など



上水道整備課 漏水防止係

電話:21-2406 ファックス:21-2172

下水道整備課 維持管理係

電話:21-2180 ファックス:21-2179